

専任教員の教育・研究業績

所属 教育学部	職名 准教授	氏名 高宮正貴	大学院における研究 指導担当資格の有無	無	
<b>I 教育活動</b>					
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概 要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)					
1. グループのワークシートおよびを利用した対話型・参加型授業の実践	平成25年4月～平成31年3月	毎回の講義では、教員が与えた問いについて、学生がグループで話し合い解答とその理由を話し合う時間を取っている。それによって、授業で学習する問題について主体的に考えることができ、思考力を高める効果を狙っている。(教育原論、教育原理、道徳教育の指導法B、道徳教育の理論と実践)			
2 作成した教科書、教材、参考書					
1. 授業用ファイル (教育原論、教育原理、道徳教育の指導法B、道徳教育の理論と実践)	平成27年4月～平成31年3月	講義用のプリントを講義初回にファイルに束ねさせ、配布した。学生が講義初回の時点で講義15回の全体像を把握できるようにし、学習への動機づけを行うことができるようにするためである。			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
特記事項なし					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
1. 大阪体育大学 教員採用試験対策支援講座	平成25年10月～現在	学内の教員採用試験対策支援ゼミで講師を務めている (教育史、他)。			
<b>II 研究活動</b>					
著書 (単著)					
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月
特記事項なし					
著書 (共著・分担執筆)					
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
14章3節「いのちをつなげる——未来への責任としての保育」、14章4節「保育の基礎にある母性と愛」/子どもの心によりそう保育内容総論	渡辺一弘、佐藤哲也、高宮正貴、他 /鈴木昌世	201頁～208頁	福村出版	東京	平成26年3月
第三部第1報告「社会の論理と教育の論理——J. S. ミルによる教育構想の規範的原理」/教育システムと社会——その理論的検討	卯月由佳、金子良事、高宮正貴他 /広田照幸、宮寺晃夫	195頁～207頁	世織書房	神奈川	平成26年8月
第2章「なぜ公教育は必要なのか?」、第8章「子どもに価値を押し付けてよいのだろうか?」/ワークで学ぶ教育学	尾崎博美、渡邊福太郎、高宮正貴他 /井藤元	17頁～29頁、94頁～107頁	ナカニシヤ出版	京都	平成27年4月
第1章「悪とは何か——デューイの倫理学から考える」/悪という希望——「生そのもの」のための政治社会学	堀内進之介、神代健彦、高宮正貴他 /現代位相研究所	57頁～79頁	教育評論社	東京	平成28年1月
第17章「道徳の授業ではどんな発問をしたらよいだろうか?——発問のつくり方」/ワークで学ぶ道徳教育	平石晃樹、渡邊福太郎、高宮正貴他 /井藤元	223頁～235頁	ナカニシヤ出版	京都	平成28年3月
第7章「価値を伝える場としての家庭団欒」/「家庭団欒」の教育学——多様化する家族の関係性と家庭維持スキルの応用	佐藤哲也、山本智也、高宮正貴他 /鈴木昌世	203頁～219頁	福村出版	東京	平成28年6月
第5章「教師になるために大学で学ぶべきことは何だろうか? ——教員養成におけるアカデミズムとプロフェッソナリズムをめぐって」/ワークで学ぶ教職概論	平石晃樹、尾崎博美、岸本智典、高宮正貴他 /井藤元	57頁～69頁	ナカニシヤ出版	京都	平成29年4月
第1講「子どもの発達と教育の目的」、第2講「教育とは何か」、第3講「学校の歴史」/教育原理 (よくわかる! 教職エクササイズ)	島田和幸、高宮正貴編著/森田健宏、田爪宏二監修	6頁～39頁	ミネルヴァ書房	京都	平成30年10月
第2章「なぜ公教育は必要なのか?」、第8章「子どもに価値を押し付けてよいのだろうか?」/ワークで学ぶ教育学 [増補改訂版]	尾崎博美、渡邊福太郎、高宮正貴他 /井藤元	17頁～29頁、94頁～107頁	ナカニシヤ出版	京都	令和2年3月
第18章「道徳の授業ではどんな発問をしたらよいだろうか?——発問のつくり方」/ワークで学ぶ道徳教育 [増補改訂版]	平石晃樹、渡邊福太郎、高宮正貴他 /井藤元	237頁～249頁	ナカニシヤ出版	京都	令和2年3月
価値観を広げる道徳授業づくり——教材の価値分析で発問力を高める	高宮正貴	245頁	北大路書房	京都	令和2年10月
第3章「道徳を支える思想」/道徳教育の理論と方法	藤井基貴、山田真由美、高宮正貴他 /走井洋一	28頁～40頁	ミネルヴァ書房	京都	令和2年11月
J. S. ミルの教育思想——自由と平等はいかに両立するのか	高宮正貴	185頁	世織書房	神奈川	令和3年2月

第8章「道徳性概念と道徳教育——義務論と幸福論の類型をもとに」／道徳教育はいかにあるべきか——歴史・理論・実践	貝塚茂樹、水野雄司、江島顕一、高宮正貴他 ／道徳教育学フロンティア研究会編	129頁～151頁	ミネルヴァ書房	京都	令和3年3月
---	--	-----------	---------	----	--------

原著論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。）

題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
J. S. ミルにおける機会の平等と教育——分配的正義からの考察	高宮正貴	大阪体育大学健康福祉学部研究紀要	11	21頁～34頁	平成26年1月
ブラウニングの『教育理論史入門』における教育思想史叙述の意図について——「範例」としての教育思想史	高宮正貴	大阪体育大学健康福祉学部研究紀要	15	37頁～55頁	平成30年3月
コロキウム 〈教育思想史〉の誕生(2)ベスタロッツと英米教育思想史	相馬伸一、下司晶、椋木香子、高宮正貴、岸本智典、眞壁宏幹	近代教育フォーラム	27	118頁～124頁	平成30年9月
教育における分配的正義の諸理論とその問題	高宮正貴	大阪体育大学教育学研究	3	1頁～24頁	平成31年3月
リベラな教育思想における美学の問題——J. S. ミルにおける個性と教育	高宮正貴	近代教育フォーラム	29	25頁～31頁	令和2年9月

総説

題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
道徳の本質および道徳教育への示唆——J. S. ミル、ヘーゲル、シュタイナーの視点から	高宮正貴	大阪成蹊大学紀要	1	181頁～185頁	平成27年3月
Capability and Education	高宮正貴	健康福祉実践研究センター研究紀要	2	26頁～31頁	平成28年3月
道徳科の授業において「深い学び」を可能にする発問の工夫——「問題解決的な学習」は「深い学び」になりうるのか	高宮正貴	健康福祉実践研究センター研究紀要	3	13頁～19頁	平成29年3月
コロキウム 〈教育思想史〉の誕生(2)ベスタロッツと英米教育思想史	相馬伸一、下司晶、椋木香子、高宮正貴、岸本智典、眞壁宏幹	近代教育フォーラム	27	128頁～124頁	平成30年9月
研究状況報告 教育と政治の交わりについて再考する：東アジアの若手教育哲学者とともに考える	生澤繁樹、高宮正貴、甄景徳、梁卓恒、林仁傑	教育哲学研究	119	153頁～159頁	令和元年5月
Reconsidering the Intersection of Politics and Education: East Asian Perspectives	Shigeki Izawa, Masaki Takamiya, Hektor K. T. Yan, Cheuk-Hang Leung, Ren-Jie Vincent Lin	English E-Journal of the Philosophy of Education	4	81頁～87頁	令和元年8月
研究状況報告 教育における分配的正義論の可能性	高宮正貴、児島博紀、橋本憲幸、平井悠介、玉手慎太郎	教育哲学研究	121	147頁～152頁	令和2年5月
コロキウム 教育(学)と政治(学)——「翻訳」から捉える交差と懸隔	室井麗子、高宮正貴、デュフルモン・エディ、生澤繁樹、藤井佳世	近代教育フォーラム	29	131頁～138頁	令和2年9月

その他（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）

区分	題名	著者	誌名	巻	初（始）頁～終頁	発行年月
研究ノート	教育における分配的正義の理論に向けて——ミル、ロールズ、ドゥオーキンの正義論から	単 高宮正貴	大阪体育大学健康福祉学部研究紀要	12	87頁～97頁	平成27年1月
辞典	新自由主義	単 高宮正貴	教育思想事典 増補改訂版、勁草書房		462頁～463頁	平成29年9月
研究ノート	分析的教育政治哲学の方法論の確立に向けて——教育機会の平等の正当化を事例として	単 高宮正貴	大阪体育大学教育学研究	2	29頁～35頁	平成30年3月
翻訳	東アジアに於いて人間になること：台湾の観点（東アジアに於いて「人間」であること）	単 Hung Ruyun、高宮正貴訳	教育哲学研究	117	46頁～54頁	平成30年5月
書評	平井悠介著『エイミー・ガットマンの教育理論：現代アメリカの教育哲学における平等論の変容』	単 高宮正貴	近代教育フォーラム	27	145頁～148頁	平成30年9月
書評	内田良・菅野一徳 著『みらいの教育 学校現場をブラックからワクワクへ変える』	単 高宮正貴	思考と対話	1	72頁	令和元年年5月
書評	田畑真一・玉手慎太郎・山本圭 編著『政治において正しいとはどういうことか：ポスト基礎付け主義と規範の行方』	単 高宮正貴	立命館アジア・日本研究学術年報	1	121頁～124頁	令和2年6月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
国際	平成25年7月	The Asian Link for Philosophy of Education Summer Seminar 2013	John Stuart Mill on liberty and justice in education	上智大学	高宮正貴
国内(ラウンドテーブル)	平成25年10月	教育哲学会第56回大会	教員養成における教育哲学の意義	神戸親和女子大学	高宮正貴
国内(一般演題)	平成25年11月	関東教育学会第61回大会	教育における分配的正義はどこまで可能か	玉川大学	高宮正貴
国際	平成27年1月	Asian Link of Philosophy of Education Winter Seminar 2015	Toward A Theory of Justice in Education	国立嘉義大学, 台湾	高宮正貴
国際	平成28年2月	Asian Link of Philosophy of Education Winter Seminar 2016	Capability and Education	ソウル国立大学, 韓国	高宮正貴
国内(一般演題)	平成29年11月	日本道徳教育学会第90回大会	J. S. ミルの功利主義に基づく道徳的価値の分析と道徳授業の構想	神戸親和女子大学	高宮正貴

国内(ラウンドテーブル)	平成30年10月	教育哲学会第61回大会	Reconsidering the Intersection of Politics and Education	山梨学院短期大学	Shigeki Izawa, Masaki Takamiya, Hektor K. T. Yan, Cheuk-Hang Leung, Ren-Jie Vincent Lin
国際	平成31年1月	Asian Link of Philosophy of Education 2019 Winter Seminar	Theories of distributive justice in education and their problems: Prioritarianism or Sufficiencyarianism?	国立嘉義大学, 台湾	高宮正貴
国内(一般演題)	令和元年8月	日本イギリス理想主義学会2019年度研究大会	J. S. ミルの正義論と教育思想	同志社大学	高宮正貴
国内(他)	令和元年9月	教育思想史学会第29回大会	教育(学)と政治(学): 「翻訳」から捉える交差と懸隔(コロキウム)	立教大学	室井麗子、高宮正貴、生澤繁樹、藤井佳世、エディ・デュブルモン
国内(他)	令和元年10月	教育哲学会第62回大会	教育における分配的正義論の可能性(ラウンドテーブル)	広島大学	高宮正貴、児島博紀、橋本憲幸、平井悠介
国内(一般演題)	令和元年11月	日本道徳教育学会第94回大会	道徳性の概念と道徳教育: アリストテレス、カント、ミル、デューイの比較から	広島大学	高宮正貴
国内(他)	令和2年9月	教育思想史学会 第30回大会	レオ・シュトラウスの政治思想史から見る「自然」概念の変容と教育思想史(コロキウム1 教育思想史と自然および自然主義)	オンデマンド	企画者: 綾井桜子、司会者: 河野桃子、報告者: 相馬伸一、高宮正貴、指定討論者: 今井康雄
国内(他)	令和2年10月	教育哲学会第63回大会	教育における分配的正義論の可能性(2)(ラウンドテーブル2)	日本大学(オンライン)	企画者・提案者: 高宮正貴、提案者: 橋本憲幸、児島博紀、指定討論者: 生澤繁樹
国内(一般演題)	令和2年11月	日本道徳教育学会第96回(2020年度秋季)大会	道徳教育・道徳授業におけるイデオロギー論の意義と活用	畿央大学(オンライン開催)	高宮正貴

科学研究費等の取得状況

科学研究費/その他の助成金/外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額(期間内の総額)
科学研究費	補助金 基盤研究(B)	教育思想史のメタヒストリーの研究	分担	H29-H32	1,320万円
科学研究費	補助金 基盤研究(B)	政治学との接合による規範的教育学の再構築	代表	R2-R4	1,352万円
その他の助成金	上廣倫理財団 研究者公募助成研究A	道徳教育の内容項目の体系化のための倫理学的研究	代表	R3-R4	30.6万円

特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合	公告・特許番号	国
特記事項なし				→		

Ⅲ 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
平成16年9月	教育哲学会 会員(現在に至る)
平成18年9月	関東教育学会 会員(現在に至る)
平成21年10月	教育哲学会特定課題研究助成「公教育の「正当性」論のための基礎研究一近・現代の倫理学・政治哲学諸理論の比較検討」 研究代表者(平成22年10月まで)
平成24年2月	日本教育学会 会員(現在に至る)
平成24年4月	日本道徳教育学会 会員(現在に至る)
平成24年9月	教育思想史学会 会員(現在に至る)
平成27年9月	教育思想史学会 監査(現在に至る)
平成29年12月	日本イギリス理想主義学会 会員
社会的活動	
平成26年12月12日	大阪府泉佐野市立日根野小学校「道徳」の研究協議の講師
平成29年8月25日	和歌山県かつらぎ町立大谷小学校「道徳」研修の講師
平成29年10月8日	和歌山県かつらぎ町立大谷小学校「道徳」研究協議の講師
平成30年7月23日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座(道徳) 富田林市立藤沢台小学校
平成30年8月2日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座(道徳) 岸和田市立桜台中学校
平成30年8月20日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座(道徳) 橋本市立城山小学校
平成31年2月28日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座(道徳) 岸和田市立光明小学校
令和1年12月13日	橋本市立城山小学校 道徳科飛び込み授業
令和2年1月22日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座 道徳科研究授業 指導助言 岸和田市立桜台中学校

令和2年2月10日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座 道徳科飛び込み授業 和歌山県かつらぎ町立大谷小学校
令和2年2月12日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座 校内道徳教育研修会 講師 岸和田市立立光明小学校
令和2年2月15日	大阪教育大学附属天王寺中学校 ふだんの授業展覧会 道徳科 授業公開
令和2年2月18日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座 道徳科飛び込み授業 和歌山県かつらぎ町立大谷小学校
令和2年2月25日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座 道徳科 教材研究 和歌山県立向陽中学校
令和2年8月19日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座 道徳科 泉佐野市立佐野中学校
令和2年11月13日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座 道徳科 泉佐野市立佐野中学校
令和2年11月20日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座 道徳科 泉南市立一丘中学校

#### IV 管理活動

期 間	内 容
委員会活動	
平成25年4月～平成30年3月	健康福祉学部FD委員会
平成27年4月～平成30年3月	健康福祉学部FD委員会委員長
平成25年4月～平成30年3月	健康福祉学部研究委員会
平成25年4月～平成27年3月	健康福祉学部国際・地域交流委員会
平成25年4月～平成30年3月	健康福祉学部教職課程委員会部会
平成29年4月～平成30年3月	健康福祉学部学部閉鎖特別委員会事業企画部会
平成27年4月～現在	教育学部教務委員会
平成27年4月～現在	教育学部研究委員会
平成27年4月～現在	教育学部FD委員会
平成27年4月～平成31年3月	教育学部FD委員会委員長
平成27年4月～平成29年3月	教育学部学生委員会
平成25年4月～平成31年3月	全学研究倫理審査部会
平成27年4月～平成31年3月	全学動物実験部会
平成27年4月～平成31年3月	全学FD委員会
平成27年4月～平成29年3月	全学学生委員会
平成30年4月～平成31年3月	全学学生委員会
平成27年4月～平成29年3月	全学教職課程委員会
平成29年4月～平成30年3月	全学ブランディングプロジェクト部会
特別プロジェクト活動	
平成27年4月～平成31年3月	体育系大学のリソースを活かした初等教育教員養成プログラムの基盤開発 (1) 初等教育と教員養成の今後の動向について

#### V クラブ活動の指導業績

1. 指導クラブ名	ダブルダッチ 同好会	2. 役職	2014～部長	3. 部員数	人
4. 現場指導の頻度	⑤ ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数：	回	延べ日数：	日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	④ ①積極的に取り組んでいる ②ある程度取り組んでいる ③あまり取り組んでいない ④全く取り組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	④ ①積極的に取り組んでいる ②ある程度取り組んでいる ③あまり取り組んでいない ④全く取り組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	④ ①積極的に取り組んでいる ②ある程度取り組んでいる ③あまり取り組んでいない ④全く取り組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期間	場所		
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)					
開催期間	大会名	成績	場所		

**VI 賞罰（職務に関する賞罰）**

年 月	受賞等機関名	内 容	備 考
		特記事項なし	